

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年 05月 14日

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 目的妥当性評価 | ①政策体系との整合性<br>・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか?<br>・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?                        | <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>芸術文化の振興は市の施策である。   |
|         | ②公共関与の妥当性<br>・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか?<br>・税金を投入して達成する目的か?                                   | <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>芸術文化の振興は社会教育の一環であり、社会教育法に規定されているので、行政が行う必要がある。                 |
|         | ③対象と意図の妥当性<br>・対象を限定・追加すべきか?<br>・意図を限定・拡充すべきか?   | <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある<br>市民の芸術文化の振興を図ることが目的である。 |
| 有効性評価   | ④成果の向上余地<br>・成果を向上させる余地はあるか?<br>・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか?<br>・何が原因で成果向上が期待できないのか?              | <input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある<br>集客率が上がるような事業内容の検討をする。   |
|         | ⑤廃止・休止の成果への影響<br>・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?  | <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない<br>市民が芸術文化を鑑賞する機会が少なくなる。   |
|         | ⑥類似事業との統合や連携の可能性<br>・他に、類似の形態の事務事業はないか?  | <input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない   |
|         | ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?   | <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない  |
| 効率性評価   | ⑦事業費の削減余地<br>・成果を下げずに事業費を削減できないか?<br>(仕様や工法の適正化、住民の協力など)                                     | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある<br>芸術文化の振興が图れなくなる。   |
|         | ⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地<br>・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?<br>・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできぬか?<br>(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある<br>芸術文化の振興を図るための必要最小限の経費である。                                     |
| 公平性評価   | ⑨受益機会・費用負担の適正化余地<br>・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?<br>・受益者負担が公正・公平になっているか?                       | <input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>利用者が入場料を負担をしている。  |

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  継続  
集客できるような自主事業を企画する。

### (3) 改革・改善による期待成果

|    |    | コスト |    |    |
|----|----|-----|----|----|
|    |    | 削減  | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 |     |    |    |
|    | 維持 |     |    |    |
|    | 低下 |     |    |    |

### (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

|   |   |
|---|---|
| ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり   | ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |

### (5) 改革・改善による期待成果

|    |    | コスト |    |    |
|----|----|-----|----|----|
|    |    | 削減  | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 |     |    |    |
|    | 維持 |     |    |    |
|    | 低下 |     |    |    |

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評議会議で指摘された事項